

吹田民主商工会 いんぷおめ〜しよん

吹田市川園町20-1
TEL (06) 63883-2211
FAX (06) 63882-8190
http://www.suita-minsyou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

東京都小平市の日本共産党市議団が 吹田民商の政策提言活動の視察に

1月31日に東京都小平市の日本共産党市議会議員の皆さんが吹田民商に吹田市産業振興条例と商工施策について視察に来られました。吹田民商からは山口会長、桑島副会長、西尾事務局長、事務局4名が応対しました。事前には受け取った質問事項について、西尾事務局長が報告レジメに沿って回答し、吹田民商の活動内容から、市政全般への関わり、商工施策への関わりについて答えました。小平市の市議からは、条例制定への過程や、その後の商工施策と吹田市商工業振興対策協議会の関係について質問が多く出されました。吹田の国保運動についても驚きの声がありました。小平市議からは「吹田では民商が本場に幅広い役割を果たしていることがよくわかりました。」と感想を述べられていました。



「政治とカネ」問題、 住民サービス削減に強い不満

2月1日にダイエー吹田店前で吹田明るい会の提起を受けて、吹田民商・吹田年金者組合・新婦人吹田支部の12名で吹田市政のシール投票宣伝を行いました。アンケートの内容は市長の「政治とカネ」の問題と削減された住民サービスについて。シール投票の参加は38名で、内32名の方が「政治とカネ」の問題について「責任を取るべき」と答えました。責任の形については「市長を辞めるべき」と答える方がほとんどでした。削減された住民サービスについては、利用していたサービスが複数削減された方が多いことがわかりました。買い物に来た女性は「困ることばかり」と話しながら次々とシールを張っていました。「鍼灸マッサージ助成がなくなつて、弟が経営している治療院の経営が悪化し、生活が厳しくなったと言っている」と話す方も。今の市政に強い不満を持つ住民がいることがよくわかるシール投票でした。



「現代の名工」の技術を見学し

澤田さんに質問相次ぐ

「経営交流会・工場訪問」澤田勝明さん

1月21日に開催しました。総勢14名が参加しました。澤田さん親子3人で歓迎していただきました。有難うございました。

この日はお話の前に澤田さんの加工技術を見学させていただきました。石英ガラスを高圧ガスの熱力を利用して、指先を幾度も回転させながら加工していきます。あまりにもごく自然に加工されていくため、作業を見学している参加者は何がすごい技術なのかわからないくらいです。澤田さんは修業時代に指先を使って回転させる練習を毎日毎日何時間も繰り返したそうです。管を使用して息を吹きかけながら続ける作業と並行して行います。指先と息の吹き加減の微妙さが簡単に取得できない技術です。材質の異なるガラスを難なくつなぎ合わせる技術も披露していただきました。加工されたルジウムランプは航空機や船舶の自動操縦装置に使用されています。澤田さんは「精密な製品を作ること、納期を守ること」を大切に仕事をしてきたそうです。

その後、後継者の元さんが中心に作業している紫外線殺

菌ランプの説明をしていただきました。ハキハキした口調で、講義を受けているような分かり易い説明です。作られたU字型ランプはどれも均等でひずみがありません。澤田さんも元さんの説明をすぐそばで頼もしそうに聞いています。親子でありながら、親方と弟子の関係ですが、お二人からは、同じ技術者としての尊敬と信頼が伝わってきます。澤田さんが築いてこられた家庭的なあたたかみを感じる場面でした。「これから実行しようとしているものは何ですか」の質問に「息子を一人前にすること」と答えていました。この紫外線殺菌ランプが家庭や一般食堂等で使用できないかと言う質問も出ました。市販できれば事業として成り立つのではないかと議論が進みました。塚本さんや岸田さん、後藤さんなどが関心を示しました。大いに期待して待ちたいと思います。



お買い物は地元市場商店街で。商工業者の繁栄は市民とともに！